

館長だより 第12号(令和8年1月)

新年あけましておめでとうございます。

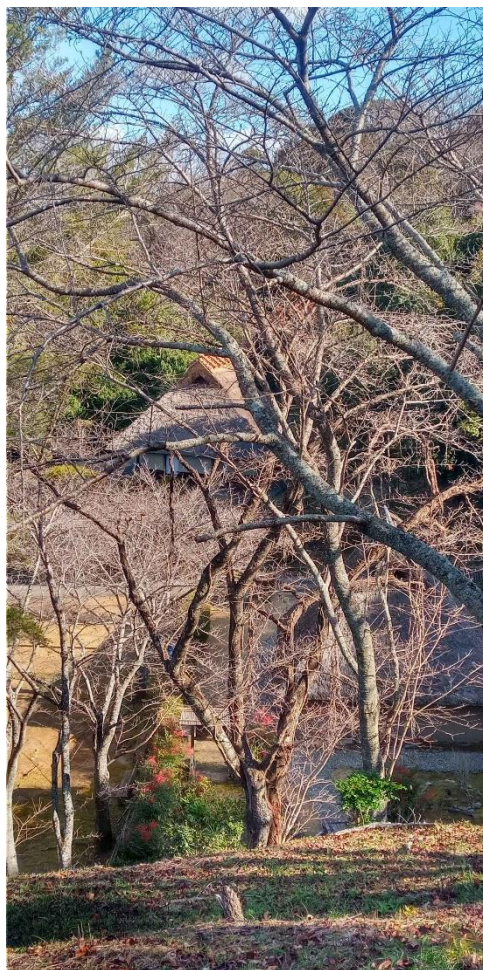
風土記の丘は1月4日から開館・開園しております。

天候が比較的安定しているためか、午前中の早い時間帯から結構な数の方々が来園されています。多くの木々が葉を落としているので、日差しが地面まで届き、園内が最も明るい時期と言えるかもしれません。空気も澄んでいるので、展望所（万葉植物園の上と、將軍塚近くの2箇所にあります）や大日山35号墳の墳頂からは、遠くまでの鮮明な見晴らしが味わえます。

管理にあたる風土記の丘でも、この時期をつかまえて枯損木を除却したり、園路周辺や古墳群の草刈りを進めて、古墳の形がはっきりと見えるようにしたりしています。園路わきの斜面に目を向けてもらえれば、樹林のあちこちに沢山のこぶ状の盛り上がりを見つけることができるでしょう



大日山35号墳から北（和泉山脈・紀ノ川方向）
の展望（右端は東造り出し部の埴輪列の復元）



展望所からの旧谷村家住宅方向
（小さな山里の雰囲気でしょうか）

風土記の丘では、過去に調査された古墳の石棺や石室の多くを調査時に近い状態のままに見ることができますが、それらの中には雨水や土砂が流入したり、石の一部が外れたりするなど、保存上の問題を抱えるものも少なくありません。そうした保存・活用上の課題をもつ古墳をリストアップし、順番に修復したり、石室の埋め戻しをしたりしています。今年は竪穴式石室をもつ方墳の前山A111号墳の修復を行いました。石室内を掃除し、周囲に若干の盛土を行って墳形を整える（過剰にならない程度にです）とともに、上部の園路の数箇所に土のうを積んで雨水の流入防止を図っています。現在は石室

周囲に張った芝を養生している段階ですが、芝が根付き新芽を伸ばす時期になれば、きれいな緑の状態でご覧いただけるようになるでしょう。それまで芝への立ち入りを制限しておりますが、ご辛抱ください。

(A111号墳の修復整備状況 →)



冬季特別展を開催します

紀伊風土記の丘は、昭和46（1971）年8月の開園以来、今年度で54年を迎えました。今後は新館建設と現資料館の改修工事が予定されており、4月から約2年半の休館を予定しております。

休館に先立ち、特別展「THE HISTORY OF KIIHODOKI-NO-OKA 紀伊風土記の丘のあゆみ」を開催いたします（1月17日～3月1日）。明治から戦後の高度経済成長に至る岩橋千塚古墳群の推移を跡づけるとともに、風土記の丘の構想、松下記念館（現資料館）の建設と開園から現在に至るまでの資料館活動とその拡大など、風土記の丘に関わられた多くの方々の思い出とともに風土記の丘のあゆみを振り返る展示を企画いたしました。

この機会にぜひ足をお運びいただき、紀伊風土記の丘の歴史をご理解いただくとともに、リニューアルオープン後の風土記の丘へのご要望・ご期待をお伝えいただければと願っております。

THE HISTORY OF KIIHODOKI-NO-OKA
紀伊風土記の丘のあゆみ

令和7年度
休館記念
冬期特別展

54
年間ありがとう、令和10年いざ新紀伊風土記の丘へ

紀伊風土記の丘の構想と
紀伊風土記の丘の誕生

紀伊風土記の丘
54年のあゆみ

令和8年
1.17 (土) - 3.1 (日)

和歌山県立紀伊風土記の丘
〒640-8301 和歌山県和歌山市 電話 073-471-6123
ホームページ <https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>

観覧時間 9:00～16:30 入場 15:00以降
休 日 休 日 休 日 休 日 休 日 休 日 休 日 休 日 休 日 休 日
入 場 料 一般200円・小学生100円・中学生100円・高校生100円・中学生100円・高校生100円・中学生100円・高校生100円
※0歳以下、65歳以上、障害者の方には無料（要：手帳提示）